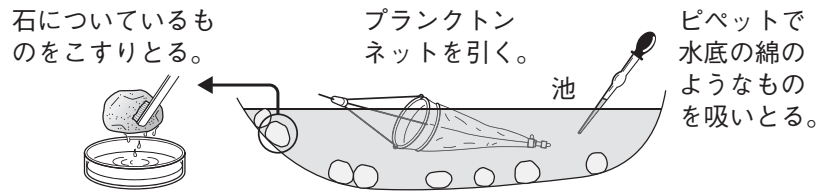


② 水中の小さな生物の観察

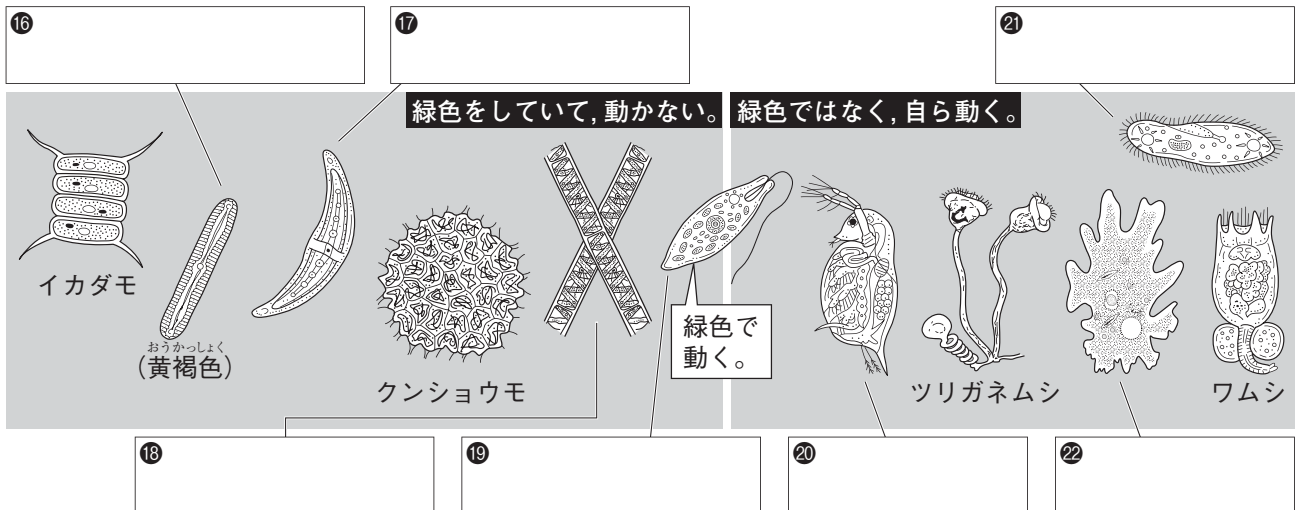
▼7 水中の小さな生物の採集方法

(1) 水中の生物の採集方法

水中のいろいろな場所で、  
水といっしょに採集する。



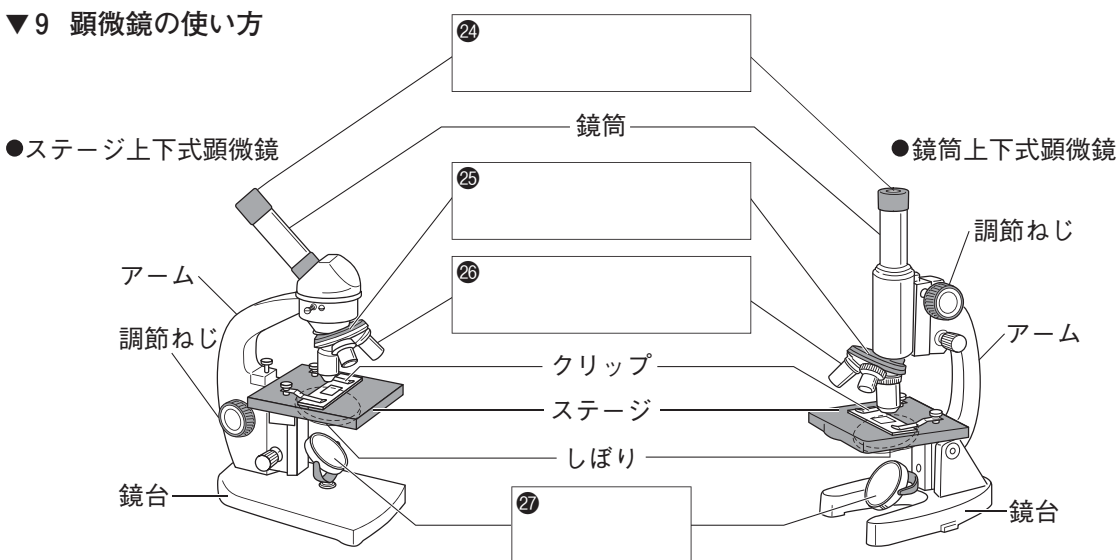
▼8 水中の小さな生物



(2) 顕微鏡 顕微鏡では、光を通すものを観察する。光を通さないものは、うすく切って観察する。プレパラートにしたものを40～600倍に拡大して見ることができる。

(3) 顕微鏡の倍率 接眼レンズの倍率 ×  レンズの倍率

▼9 顕微鏡の使い方



● **28** のつくり方

● **29** ガラス 採集した水 1, 2 滴

● **30** ガラス 空気あわの泡が入らないように、静かにかける。

● レンズの倍率  
接眼レンズ  
10倍 短く なる。40倍  
**31** ほう  
が倍率が高い。

● 顕微鏡の像  
(上下左右 **33** 向き)  
プレパラート  
視野  
観察したいもの  
動かしたい向きと **34** 向き  
にプレパラートを動かす。

● 対物レンズ  
10倍 長く なる。40倍  
**32** ほう  
が倍率が高い。

● ピントの合わせ方

**35** が当たらない **36** 場所に置く。

**37** レンズ →  
**38** レンズの  
順にとりつける。

**39** な場所  
に置く。

① 視野全体が明るく見えるように、反射鏡としぼりを調節する。

② プレパラートをステージにのせ、対物レンズとの間をできるだけ近くする。

対物レンズの先を横から見ながら、調節ねじを少しずつ回す。

② → ③ の順に操作するのは、プレパラートと対物レンズをぶつけないようにするため。

③ 調節ねじを ② と逆向きにゆっくり回して、  
**40** ながら  
ピントを合わせる。

● 高倍率で観察するとき

観察するものを視野の中央に動かしてからレボルバーを回す。

顕微鏡の視野の明るさ  
見える範囲が **41** , 視野が **42** なる。  
しぼりや反射鏡を調節して、光の量を多くする。

# 2 花のつくりとはたらき

## ① 花のつくりとはたらき

(1) 花のつくり 花の中心に  ①  があり、そのまわりにおしべ、花弁、がく の順についている。

①がく つぼみのとき、花の内部を保護している。

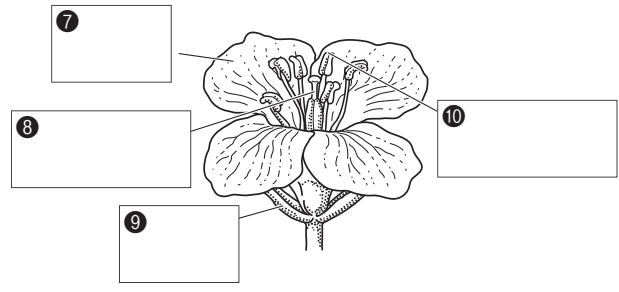
②花弁 花弁が1枚1枚はなれている花や、花弁がくっついている花がある。

③おしべ 先端の  ②  で  ③  がつくられる。

④めしべ 花が散っても残る部分が多い。

- ④  めしべの先端。花粉がつきやすい。
- ⑤  めしべのものとふくらんだ部分。
- ⑥  子房の中にある小さな粒。<sup>つぶ</sup>

## ▼1 アブラナの花



★がくの1枚1枚をがく片という。

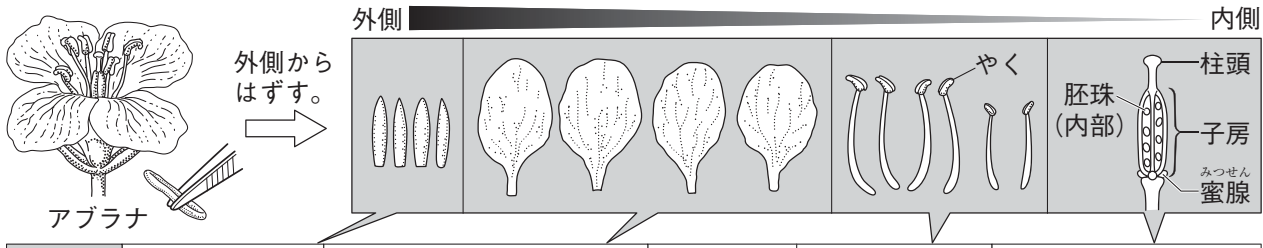
★花弁が1枚1枚はなれている花を

⑪  , 花弁がくっついている

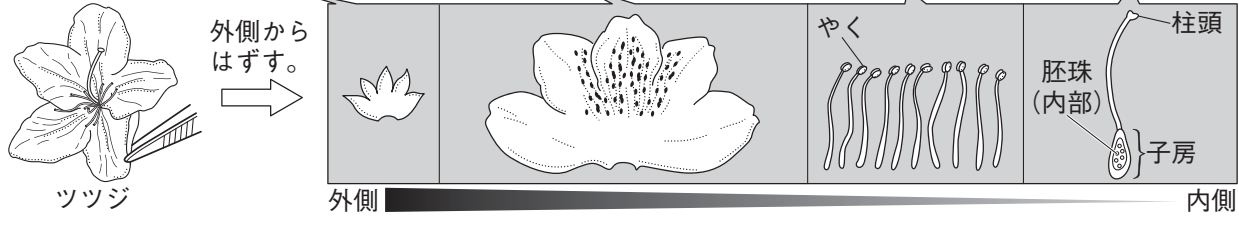
花を  ⑫  という。

★両性花と単性花 アブラナ・エンドウ・ツツジのように、1つの花におしべとめしべの両方がある花を両性花という。カボチャ・トウモロコシ・マツのように、雌花に胚珠が、雄花にやくがある花を、単性花という。

## ▼2 アブラナの花とツツジの花の分解



アブラナ	4枚	4枚あり、はなれている。	黄色	6本	1本(多数)
花	<input type="text"/> ⑬ <input type="text"/>	<input type="text"/> ⑭ <input type="text"/> のようすと色	<input type="text"/> ⑮ <input type="text"/>	<input type="text"/> ⑯ <input type="text"/>	<input type="text"/> ⑰ <input type="text"/> (胚珠)
ツツジ	くっついている。	5枚あり、くっついている。	赤色、白色	10(5)本	1本(多数)



(2) 花のはたらき 花は、受粉して種子をつくり、子孫をふやす。

①  おしべのやくでつくられた  が、めしべの  につくこと。

② 果実と種子 受粉後、めしべの  がふくらんで  になり、子房の中の  が  になる。

▼3 果実と種子のでき方

